

「からだ」 うごく・うごきだす つながる・つなげる

はじめに

プロローグ 5

研究の方法

1・2年次の研究

- ものとの関わりに着目 1年次「透明」、2年次「道具」

3・4年次の研究

- 心と一体となった「からだ」に着目
- からだが「動く、動き出すとき」が探究の始まり！
～A児の姿から見えてきたこと～
- 「うごく、うごきだす」から「つながる、つなげる」へ

I. うごく・うごきだす 9

- 事例1 C児とさくらんぼ
- 事例2 「じゃあ、いいよ」～D児の絵本やさん～
- 事例3 入れかわったふたり
- 事例4 透明になる
- 事例5 メダカのためご
- 事例6 J児が動き出したとき
- まとめ うごく・うごきだす

II. つながる・つなげる 17

- 事例7 トンボが来た日
- 事例8 描いた絵からN児の「思い」が伝わる
- 事例9 S児にとっての「描く」
- 事例10 長くつながった輪つなぎ
- まとめ つながる・つなげる

エピローグ 29

- 「美しさ」や「不思議さ」を感じる ～感じる心・心と一体となったからだ～
- 自ら身体を動かし関わる ～自分らしく「ある」こと・なりたい自分に「なる」こと～
- 「もの」との距離を縮める ～「もの」の活用・「もの」の声を聴く～
- 新たに発見し考える ～探究の深まり・「つながる・つなげる」・教師の援助～

資料 32

1. 平成 26 年度 公開保育研究会講演記録
2. 平成 27 年度 公開保育研究会講評記録
3. 平成 14 年度 本園研究紀要掲載巻頭言
4. 学びの概要

おわりに